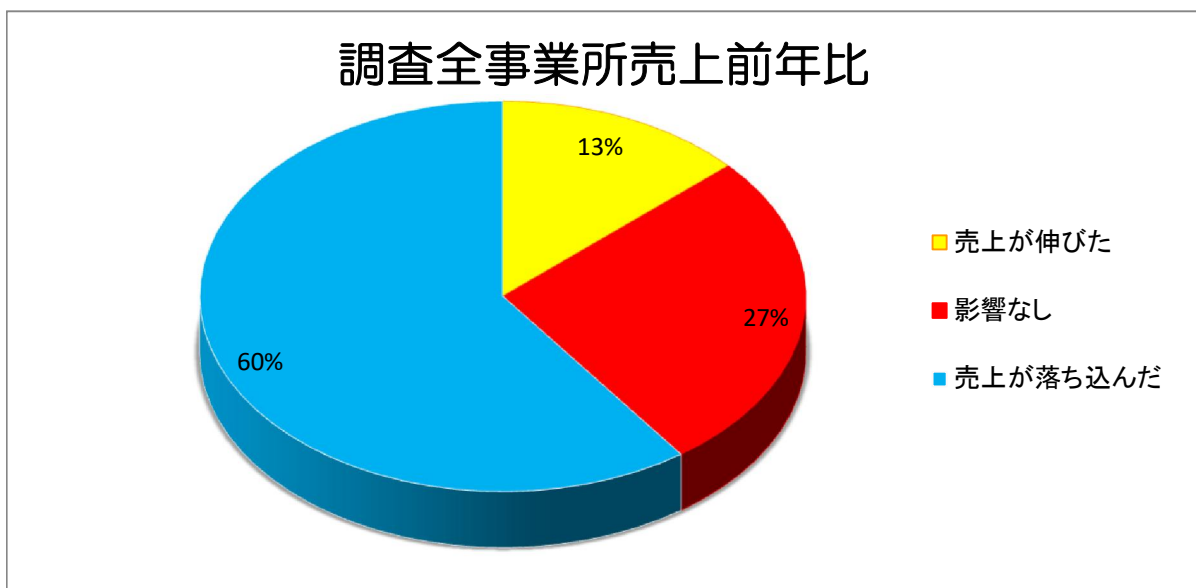
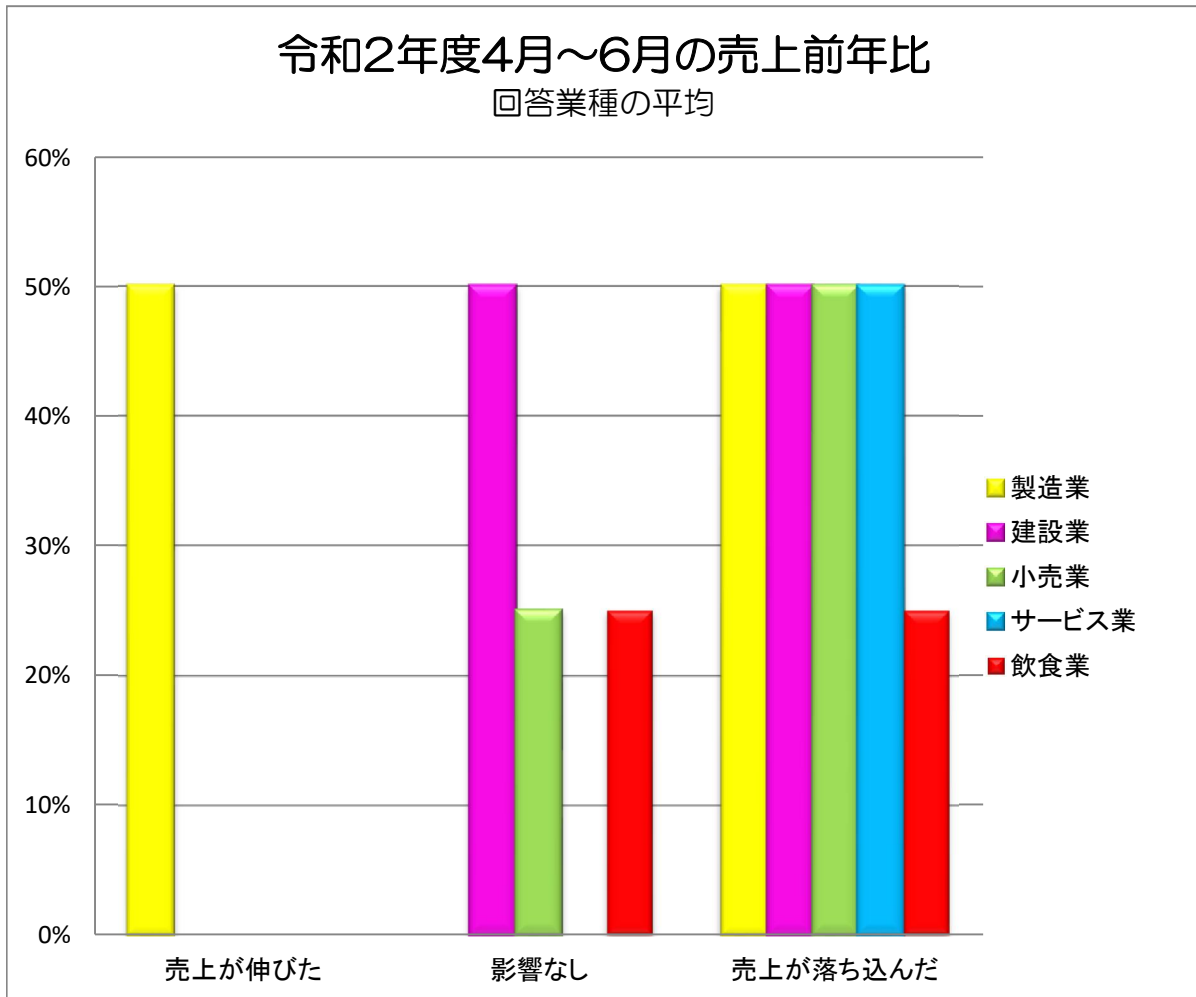


令和元年度
管内小規模企業景気動向調査概要
(令和2年度4月～6月)

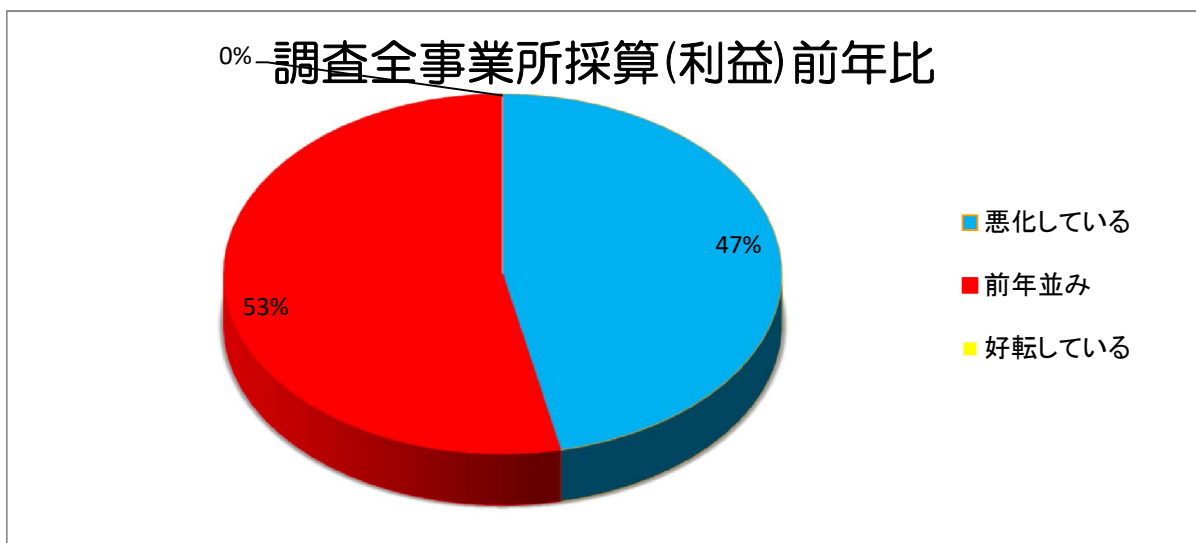
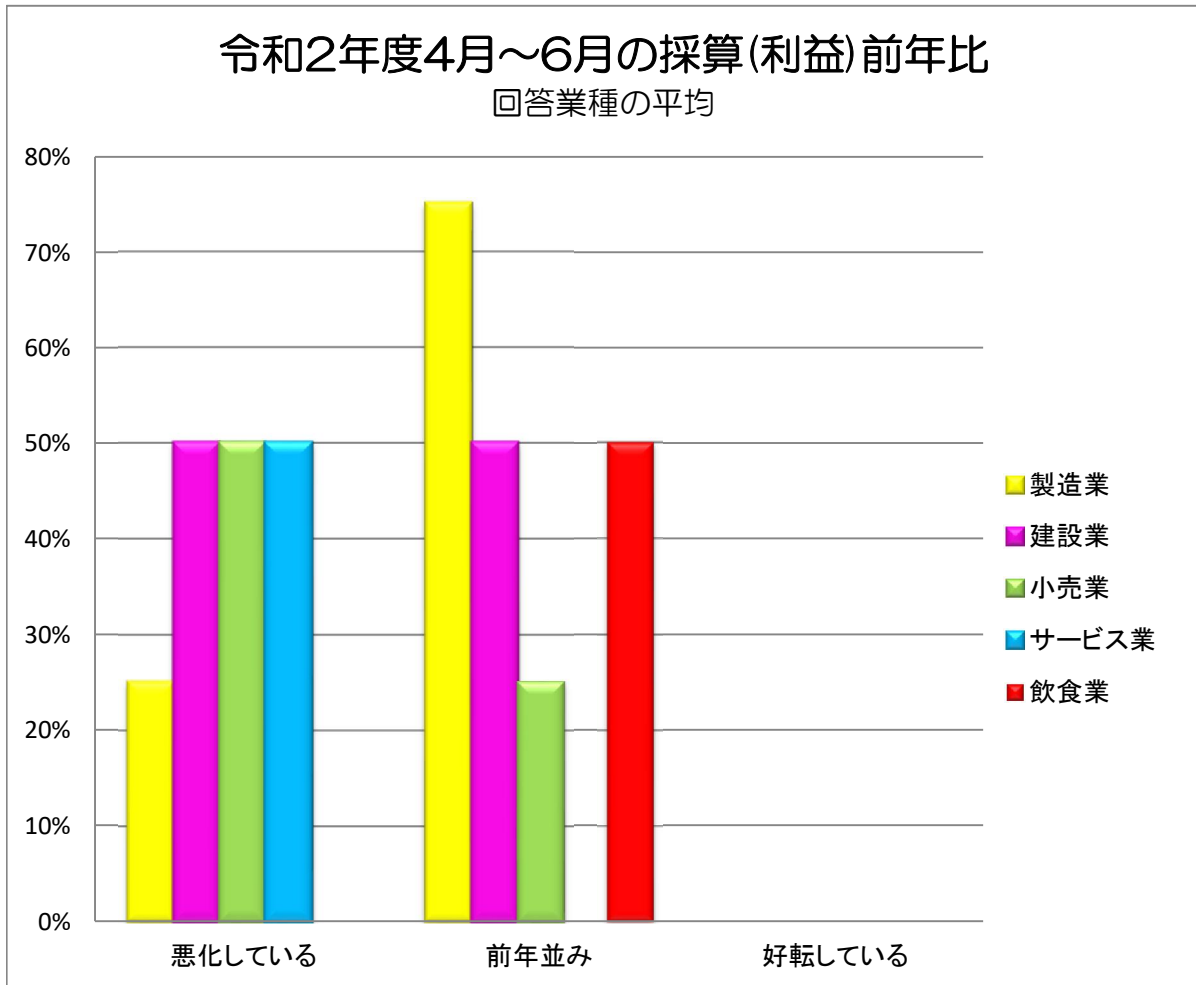
みやぎ仙台商工会

質問 I 売上高は、前年同期に比べてどうですか？



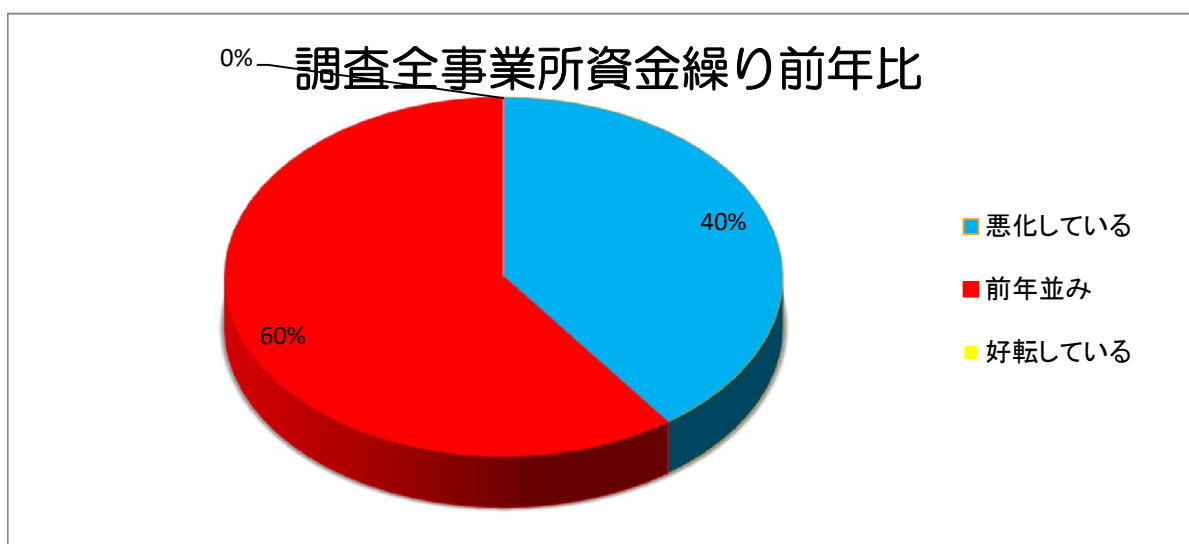
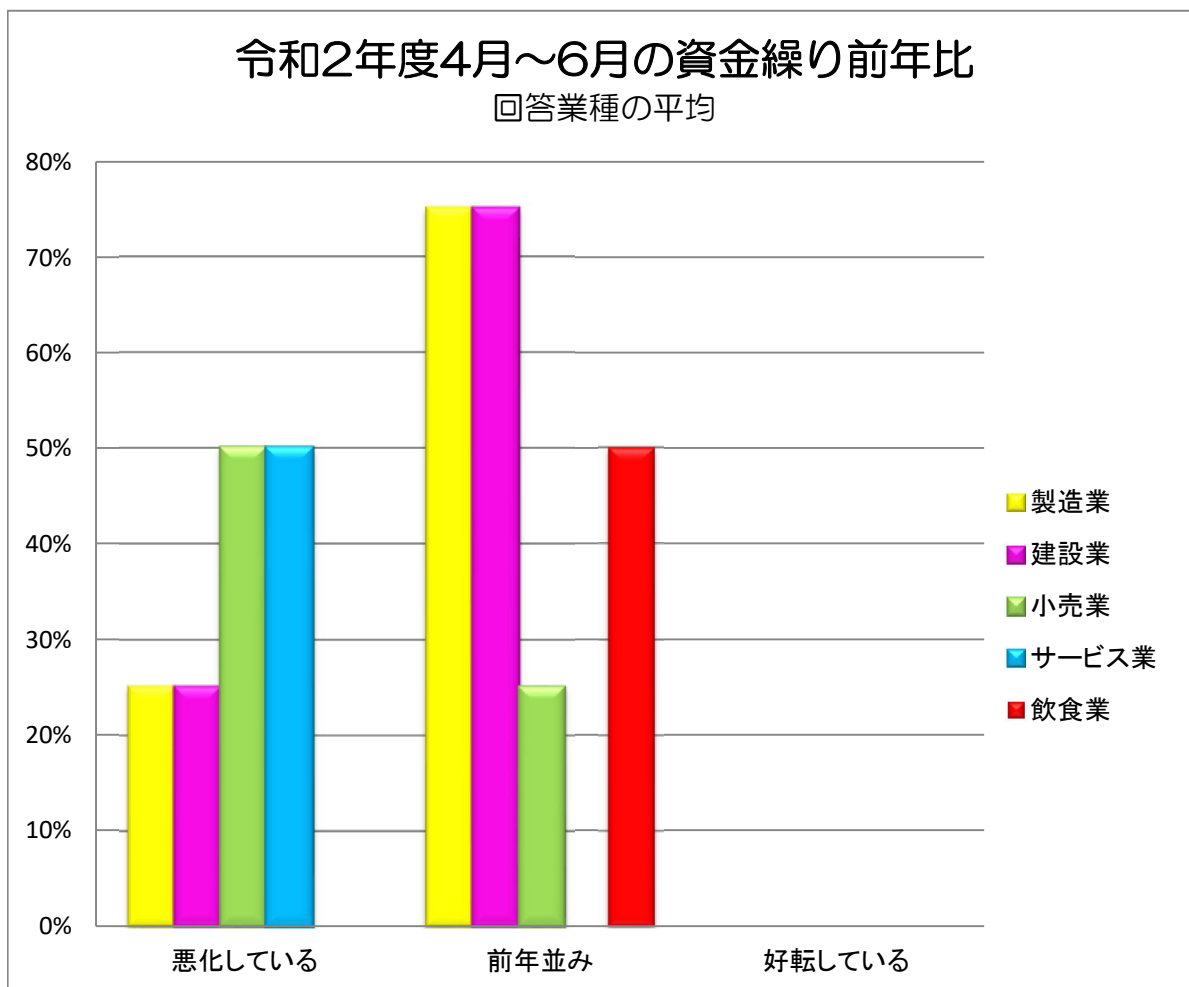
下段のグラフによると、業種を考慮せずに、事業所ごとの対売上前年比を調査したところ、『売上が落ち込んだ』が60%と多く、以下『影響なし』、『売上が伸びた』の順番であった。
更に、上段のグラフで、業種ごとの回答を調査したところ、業種ごとの景況感がほぼ一致していることが顕在化した。

質問Ⅱ 採算(利益)は、前年同期に比べてどうですか？



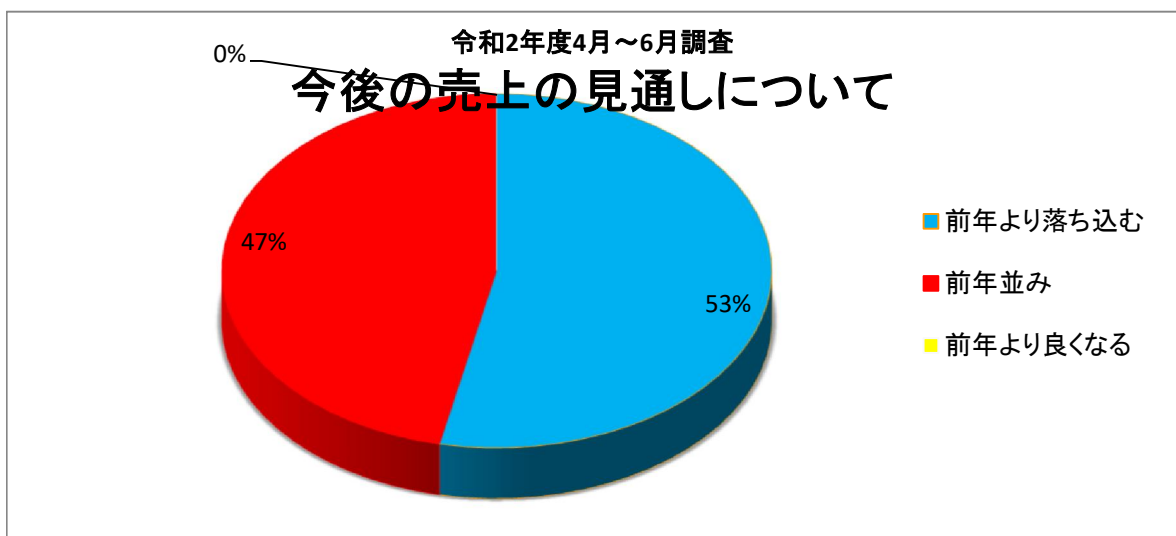
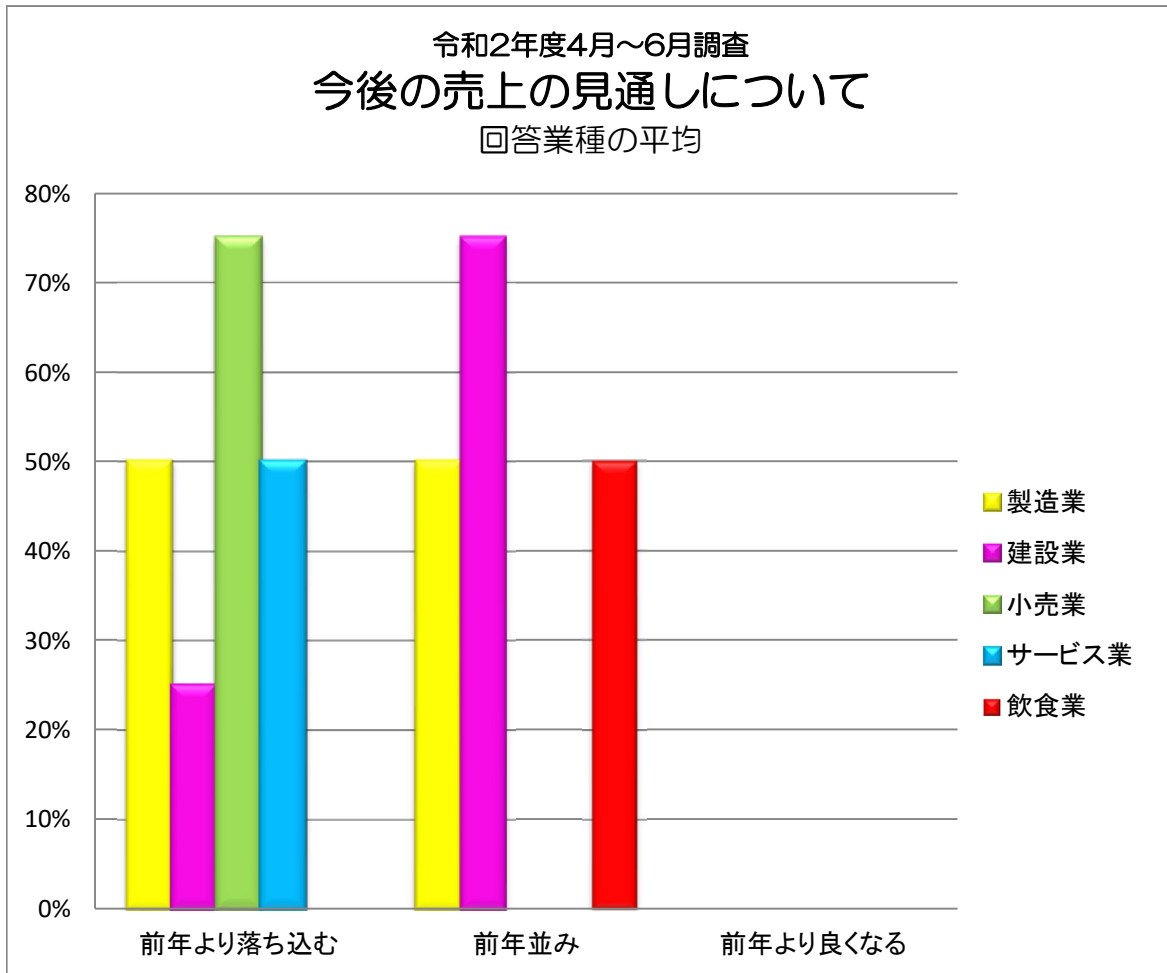
下段のグラフによると、採算(利益)については、ほぼ半数が悪化していると回答したのに対し、残りのほぼ半数が前年並みと回答しており、こちらも不調が上回っていることが伺える結果となった。

質問Ⅲ 資金繰りは、前年同期に比べてどうですか？



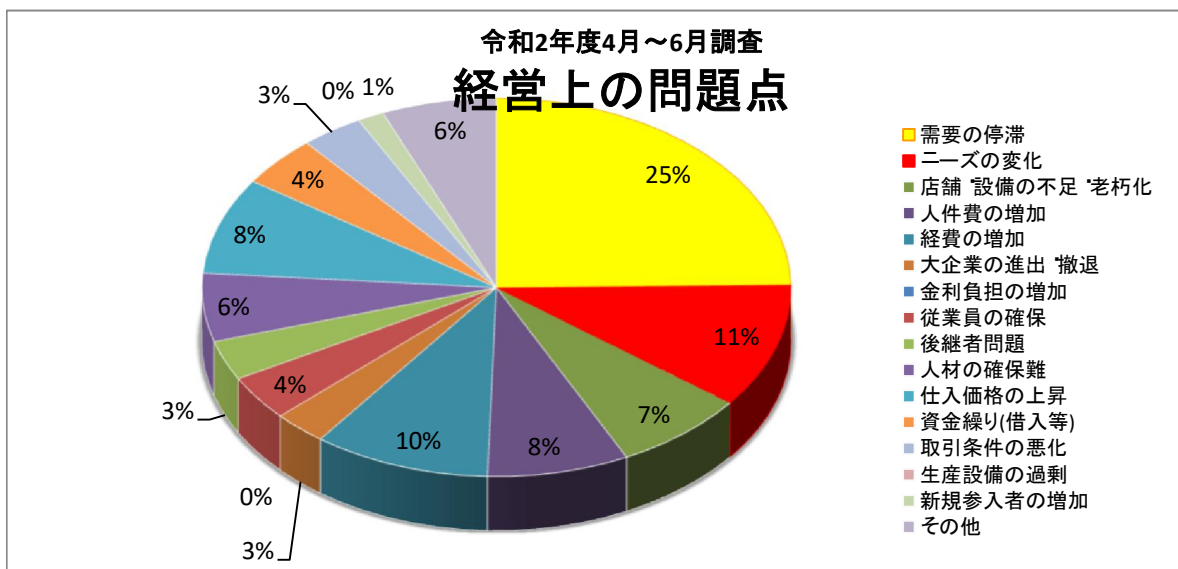
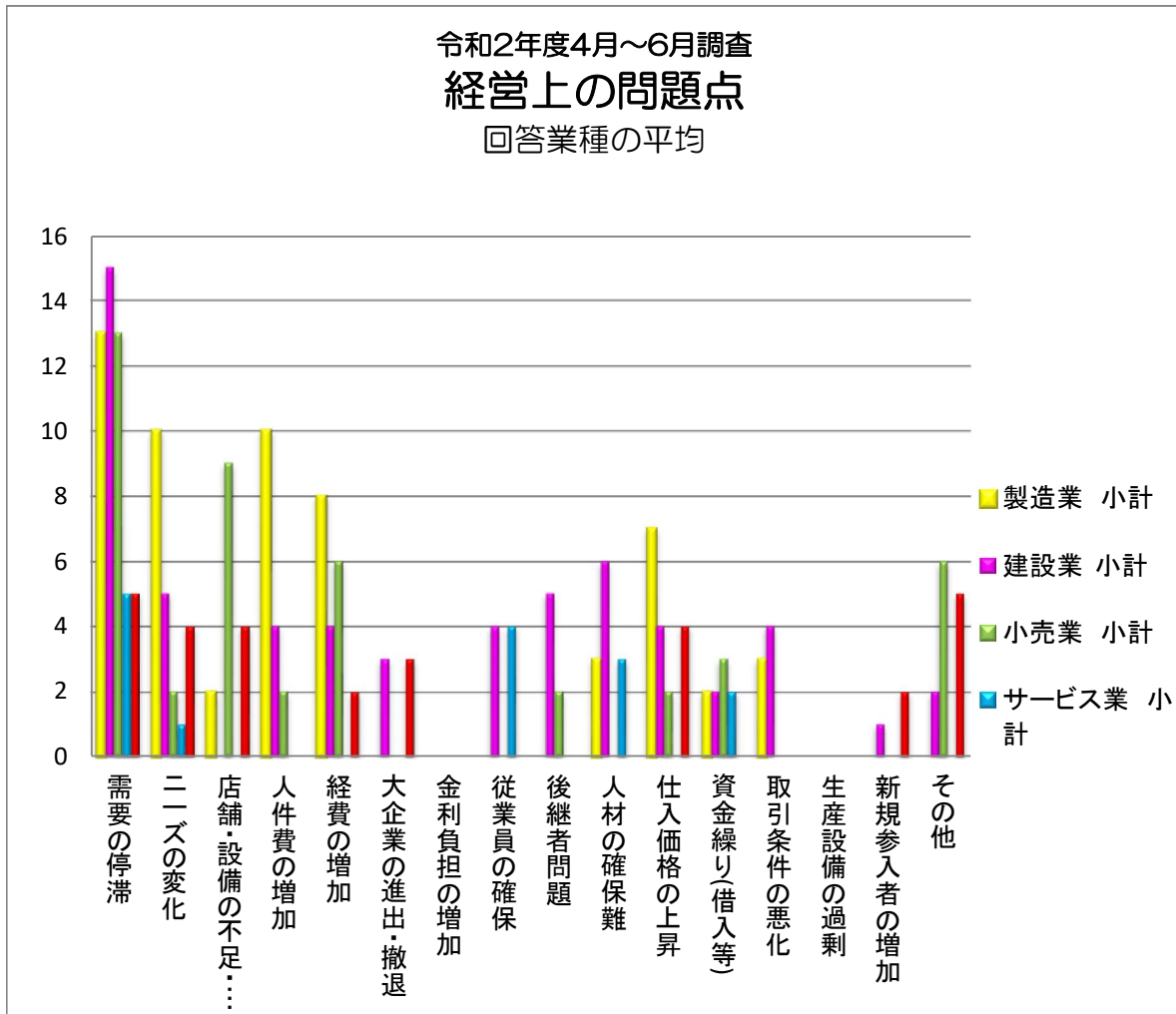
資金繰りに関しては、60%の事業所が前年並みと回答しているのに対し、悪化しているのがほぼ全業種に亘って40%の回答があり、好転している0%の事業所に対して大幅に多いことから、傾向を注視し、早めに対策を練っていく必要がある。

質問Ⅳ 今後の売上の見通しについて



今後の売上の見通しについては、「前年より落ち込む」が一番大きく、続いて更に「前年並み」、「前年より良くなる」という項目が続いている。

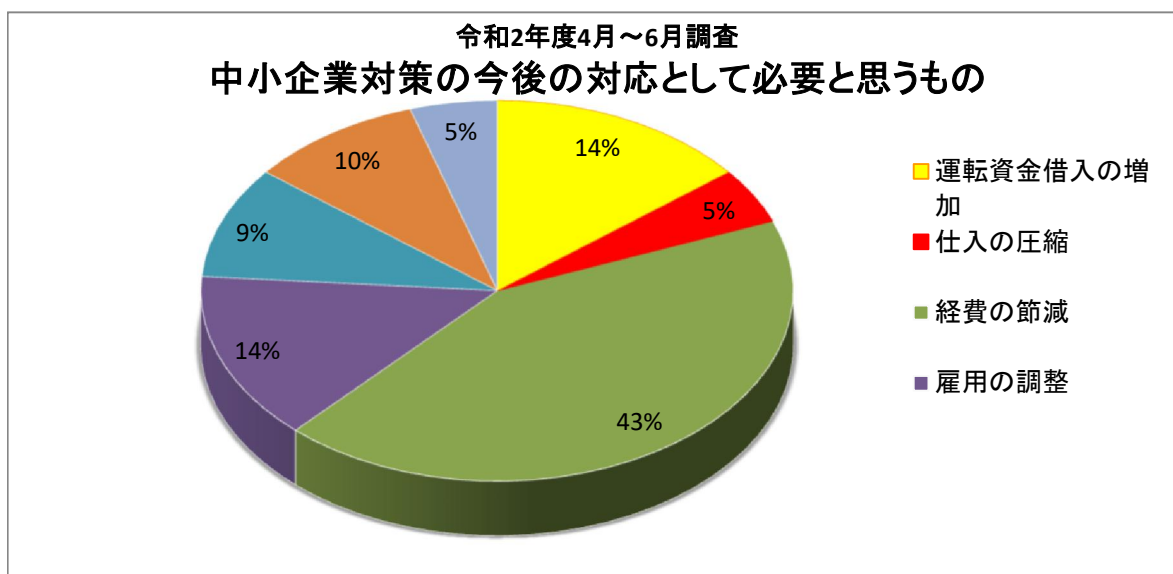
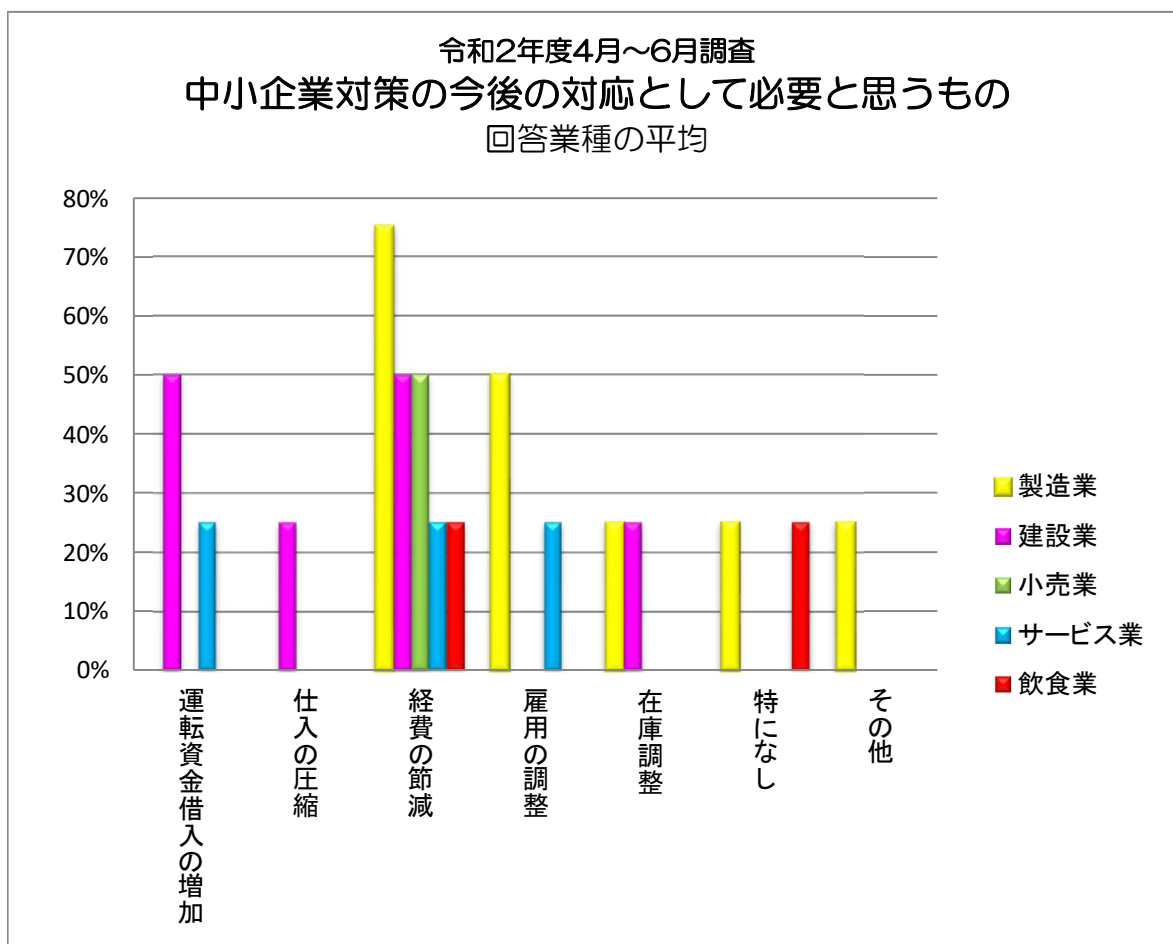
質問Ⅴ 経営上の問題点として重要な点を下記により上位5つまで選んで重要な順に記入願います。



※質問が上位5つを選んで重要な順に選んでくださいとなっていることから、順位1位を5点…順位5位を1点として集計しております。

経営上の問題点は、全体としては、需要の停滞が25%、ニーズの変化が11%となっており、業種別に見ると、需要の停滞は、全業種でそれぞれ1位となっている。消費者の需要の停滞やニーズの変化という大きな問題に対応していく必要がある姿が顕かになってきており、いかに解決していくかが喫緊の課題となっていることが明らかになってきている。

質問VI 景気低迷による中小企業の対策として、今後どのような対応を講ずる必要があると思いますか(複数回答)



中小企業対策の今後の対応として、必要と思うものについては、全体としては、「経費の節減」となっており、この項目は全業種でトップとなっている。また建設業では、「運転資金借入の増加」という回答がそれぞれの業種ごとのトップ(同数1位)となっている。しかしながら、「経費の節減」は需要の停滞への影響がでることや、「運転資金借入の増加」は経営体力の低下を示しており、昨今の事業承継の問題などとリンクして、解決するのは難しい問題となっている。

